

建設業の思いを創る。INNOVATION for ALL.



個人投資家様向け会社説明

福井コンピュータホールディングス株式会社

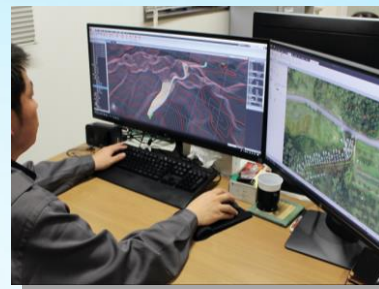
東証プライム市場上場 証券コード：9790

会社概要

建設業界向け設計用ソフトウェア等を開発している企業です。

設立
1979年

本社所在地
福井県福井市



グループ会社
5社

従業員数
551名

拠点数
全国30拠点

上場市場
東証プライム市場



資本金
16億3,170万円

売上高
約147億円



※2025年3月末時点

福井コンピュータホールディングス株式会社
代表取締役グループCEO 佐藤 浩一



現場の課題 とリスク

- ・ 工程のひずみ
- ・ 深刻な人手不足
- ・ 事故・災害
- ・ 若手離れ/高齢化



「3K」問題 の現状

- ・ キツイ→改善の兆し
- ・ キタナい→環境改善が進行
- ・ キケン→残存

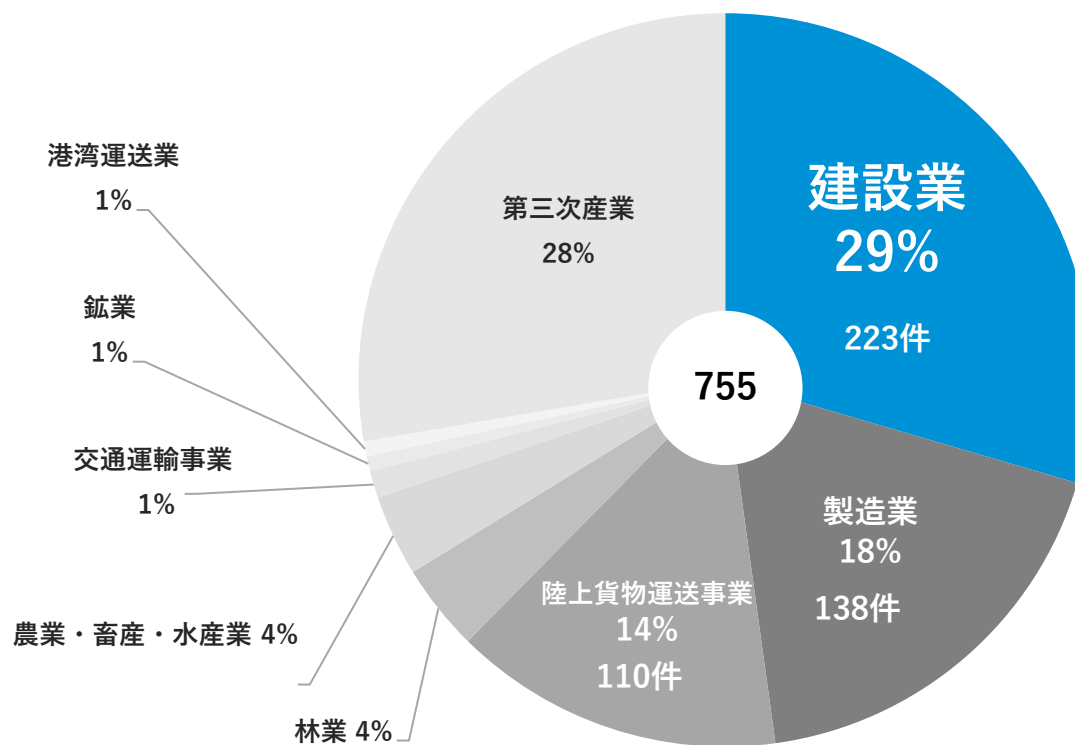


制度による 働き方改革

- ・ 2024年問題
- ・ 4週8閉所の導入

現場の課題とリスク

死亡災害件数



出典：建設業労働災害防止協会より

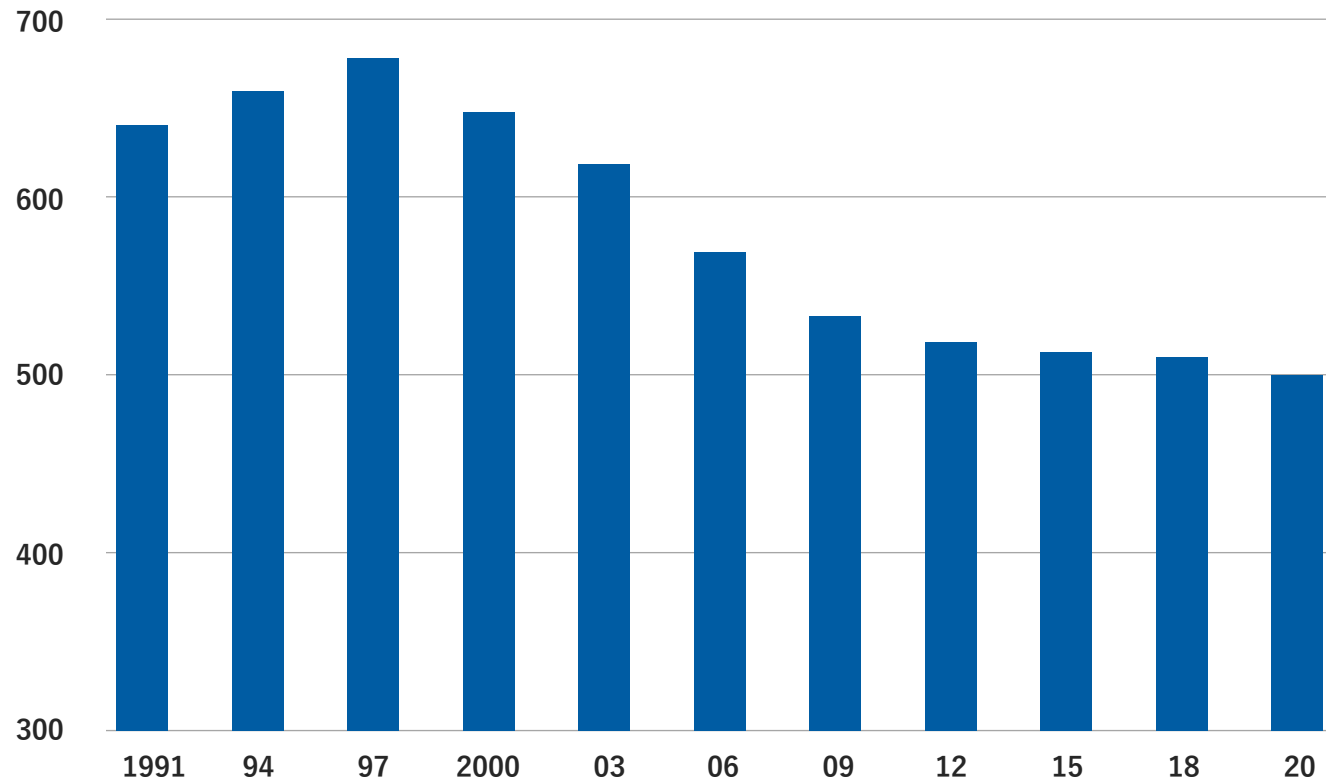
こうした課題に正面から向き合い、ITの力で建設業の合理化と安全性向上を支援していくことを使命とし、CADをはじめとする多くのソリューションを提供してまいりました。

「3K」問題の現状

建設業界の就労者は1997年の685万人をピークに、2010年以降は500万人で推移しています。

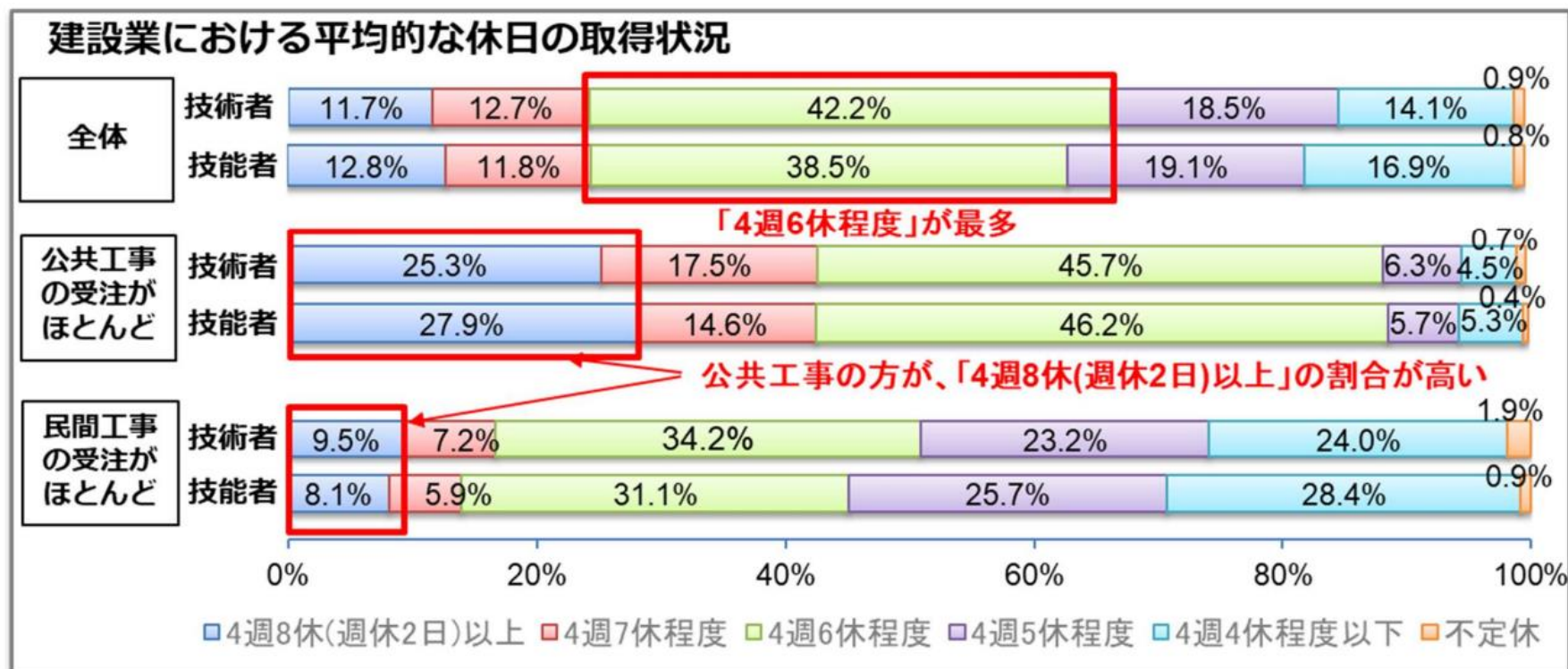
単位：万人

建設業の就労者・雇用の推移



※参考：国土交通省

制度による働き方改革



(出典) 適正な工期設定等による働き方改革の推進に関する調査 (令和4年度) 国土交通省

現場の課題 とリスク

- ・ 工程のひずみ
- ・ 深刻な人手不足
- ・ 事故・災害
- ・ 若手離れ/高齢化

建設業に係わる業務効率化と
安全性向上

「3K」問題 の現状

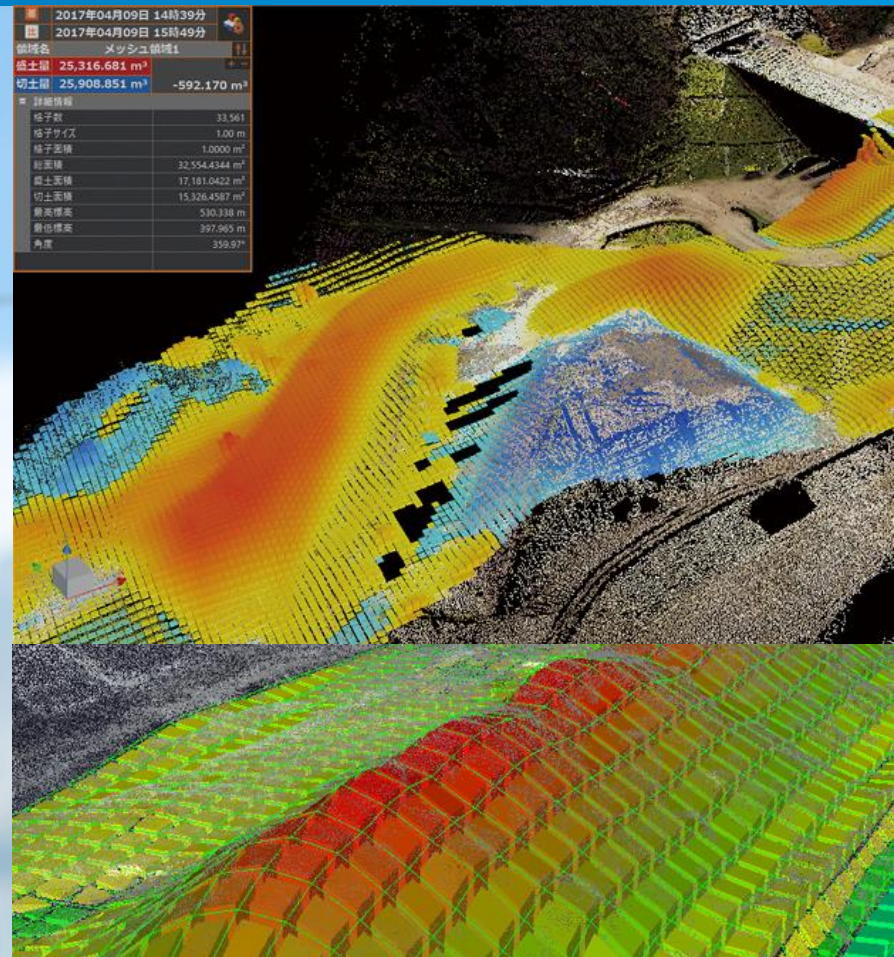
- ・ キツイ→改善の兆し
- ・ キタナイ→環境改善が進行
- ・ キケン→残存

建設業の
マイナスイメージの払しょく

制度による 働き方改革

- ・ 2024年問題
- ・ 4週8閉所の導入

建設業界全体の
生産性向上



「Be Must Be.=建設業のなくてはならないになる」ことを目指し、社会に必要とされるビジネスモデルの構築に挑戦してまいります。

建設業に係わる業務効率化と
安全性向上

建設業の
マイナスイメージの払しょく

建設業界全体の
生産性向上

建設業のDX推進のサポート

3D点群処理システム



危険箇所をドローンで計測することにより安全な建設現場を推進。

BIM/CIM対応3D設計システム



3Dでの可視化による合意形成で
スマートな建設業を支援。

3D建築CADシステム



3Dで完成イメージを共有することにより
手戻りの少ない設計フローを実現。

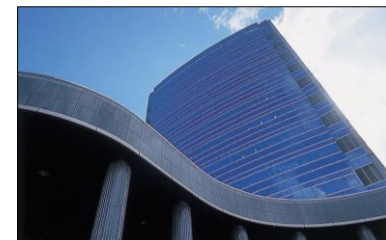
 FUKUI COMPUTER

当社の沿革と事業について

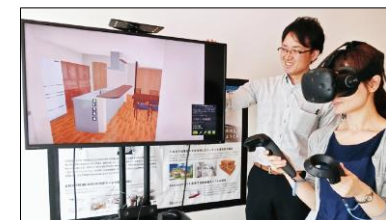
- 1979年 ● **福井コンピューター販売株式会社を設立**
- 1982年 自社製土地家屋調査士向けCADシステム「図作」の開発、販売を開始
- 1986年 自社製建築CADシステム「建築フォームベース5」の開発、販売を開始
- 1989年 福井市に本社ビルを建設
福井コンピュータ株式会社へ商号を変更
- 1995年 ● **株式店頭公開**
- 1997年 福井県坂井市に技術開発センタービルを建設
- 2004年 土木施工管理システム「EX-TREND 武蔵」 発売
- 2006年 ● **東証二部上場**
- 2007年 ● **東証一部上場**
- 2009年 BIM建築設計システム「GLOOBE」 発売
- 2012年 福井コンピュータホールディングス株式会社へ
● 商号を変更し**持株会社体制へ移行**
- 2014年 3D点群処理システム「TREND-POINT」 発売
- 2016年 建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト「3Dカタログ.com」 公開
- 2019年 グループ設立40周年
- 2022年 ● **東証一部から東証プライムへ移行**
- 2023年 IFAC合同会社を設立
- 2024年 福井駅前に「Visionary Hub Fukui」を開設



●1990年頃のCADシステム



●技術開発センタービル（坂井市）



●建築CAD/VRシステム



●3D点群測量システム

建設業界の仕事は主に調査→設計→施工→維持管理の4つの工程で進められます。

1

調査（測量）



2

設計



4

維持管理



3

施工



建設業界における測量、土木、建築、すべての業種に展開しているのが強みです。

福井コンピュータ株式会社

測 量



土 木



売上高約72億円

福井コンピュータアーキテクト株式会社

住 宅



建 材



B I M



売上高約69億円

福井コンピュータスマート株式会社

I T S



売上高約6億円

※2024年度実績



道路、河川、橋、ダム、運河、公園など

測量事業

測量事業では、主に測量会社や土地家屋調査士に向け、i-Construction推進のための3Dレーザースキャナーをはじめとする3次元計測の普及等業界の進化にいち早く対応し、さらには公共測量や地籍調査における作業規程準則など国が定める基準に則った堅実なソフトウェアの提供を目指すことで、業界の生産性向上に大きく貢献しています。

ターゲット	測量会社、土地家屋調査士、地籍調査業者
売上高	3,923百万円



測量CADシステム
【TREND-ONE】
(トレンドワン)



ほか多数

土木事業

土木事業では、全国の土木施工会社と、官公庁の公共工事を担う機関などを対象に、土木施工管理システムやCADシステムを主軸としたソフトウェア群を提供し、受発注者双方の業務支援を行っております。建設ライフサイクルの中でも日々作業を行う"施工フェーズ"を支援することで、建設業様の業務効率化を支援しております。

ターゲット	受注者：建設会社、ゼネコン、準ゼネコン 発注者：全国の自治体（都道府県、市町村）
売上高	3,082百万円



受注者向け
土木施工業向けCADシステム
【EX-TREND武蔵】



ほか多数



一般住宅、マンション、ビル、店舗、公共施設など

住宅事業

住宅事業では、3D建築とCADシステムを中心とした建築ソリューションで、ハウスメーカーや、工務店、設計事務所など、住宅事業者の業務支援を行っております。ソフトウェアを通じて、国民の財産である住宅の「安全」と「安心」を実現し、住宅産業と社会の発展に貢献します。

ターゲット	住宅事業者（ハウスメーカー、工務店、設計事務所）
売上高	5,037百万円



3D建築CADシステム
【ARCHITREND ZERO】
（アーキトレンドゼロ）



ほか多数

建材事業

建材事業では、建材・住設機器・インテリアメーカーのご協力のもと、住宅会社・建設会社・建築設計事務所、さらに一般消費者にまで至る建築業界全般に向けた、建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサービスを提供しています。

ターゲット	建築業界全般（住宅事業者、建設会社、一般消費者）
売上高	861百万円



建材データサイト
【3Dカタログ.com】



ほか多数

BIM事業

BIM事業では、日本独自の設計手法や法規に対応したBIM建築設計システムと、幅広いBIMデータ活用と次世代施工を実現できるBIM建築施工システムを提供しています。これらのシステムにより、日本の建設業界にマッチしたBIM活用推進を行い、建築事業者様の業務効率化を支援しています。

ターゲット	建築事業者（設計事務所、建設会社）
売上高	837百万円



建築（ビル・施設用）
設計・施工支援システム
【GLOOBE Architect】
【GLOOBE Construction】



※2024年度実績

ITソリューション事業

ITソリューション事業では、2001年より報道機関向けの選挙出口調査システム市場を形成してきました。スマートデバイスを活用したアプリケーション開発により、情報伝達のスピードと正確性を要する選挙報道をサポートしています。

ターゲット	放送局、新聞社等の報道機関
利用実績	- 国政選挙、地方選挙をあわせ1,000を超える選挙での利用実績 - 国内の主要放送局・新聞社、地方民放・新聞社で採用 2021衆議院では約140万人、2022参議院では約80万人の有権者が利用



選挙出口調査システム
【ワン・クリック・カウンタ】



ほか



選挙出口調査



投票者による入力

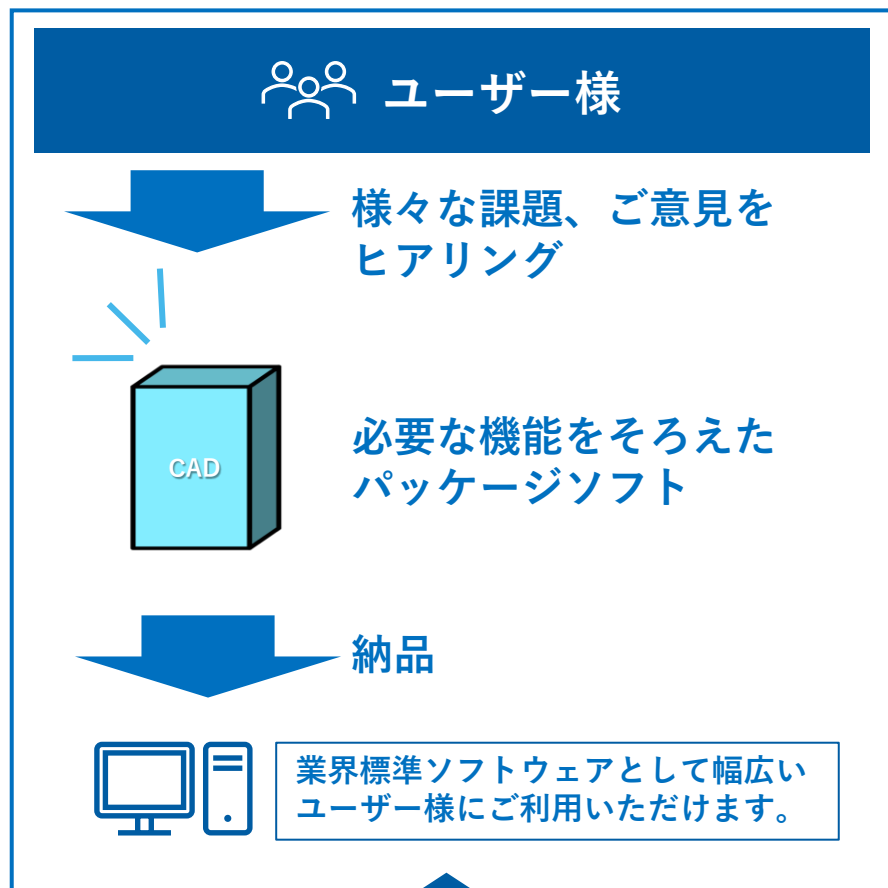


票集計センター

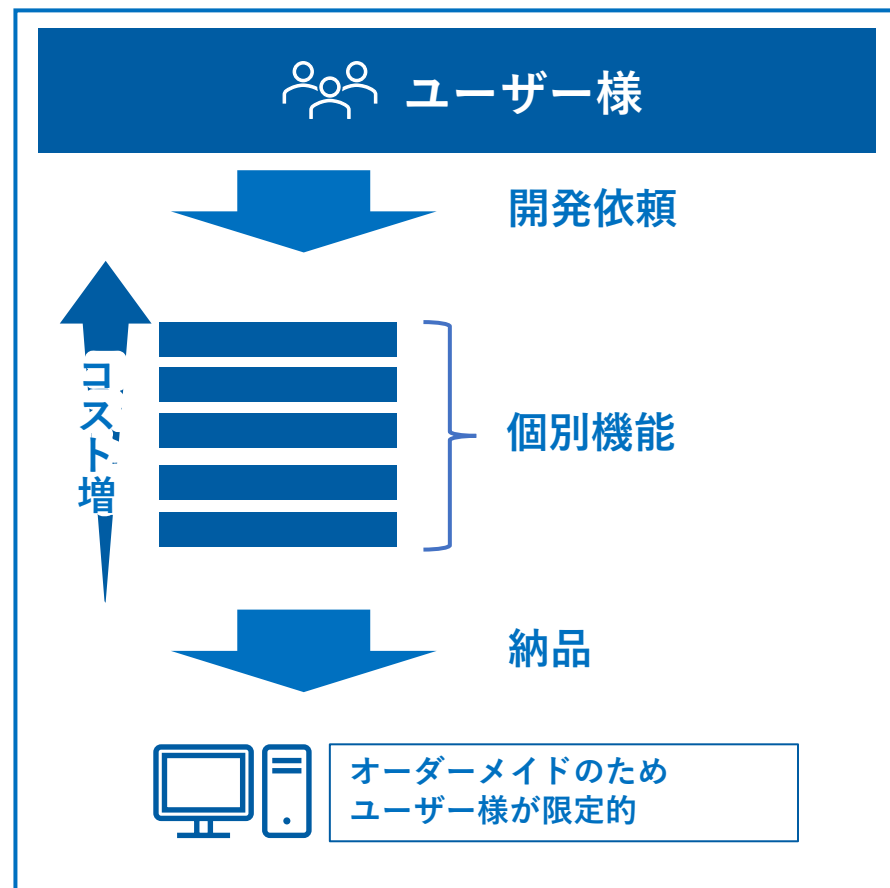


開票速報番組

パッケージソフトウェア開発のイメージ

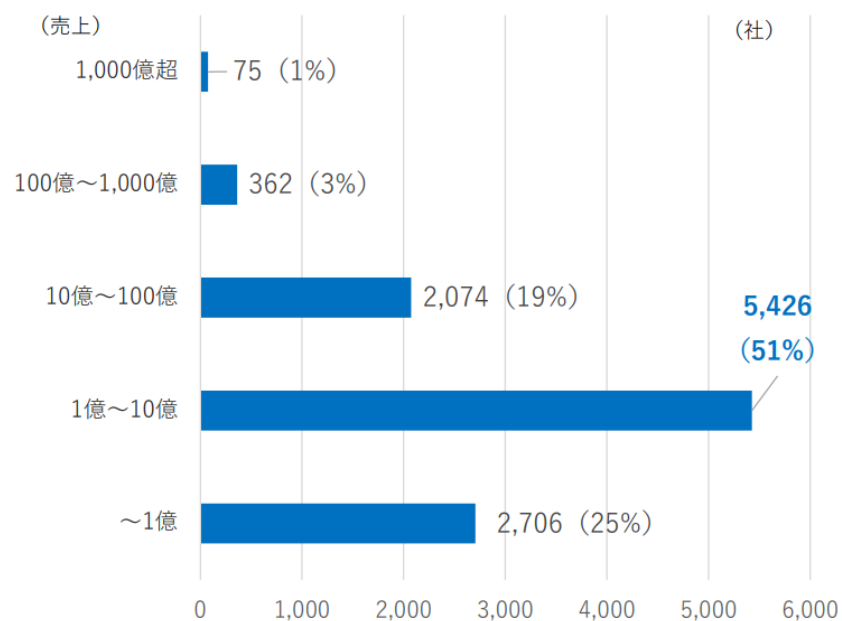


受託開発のイメージ

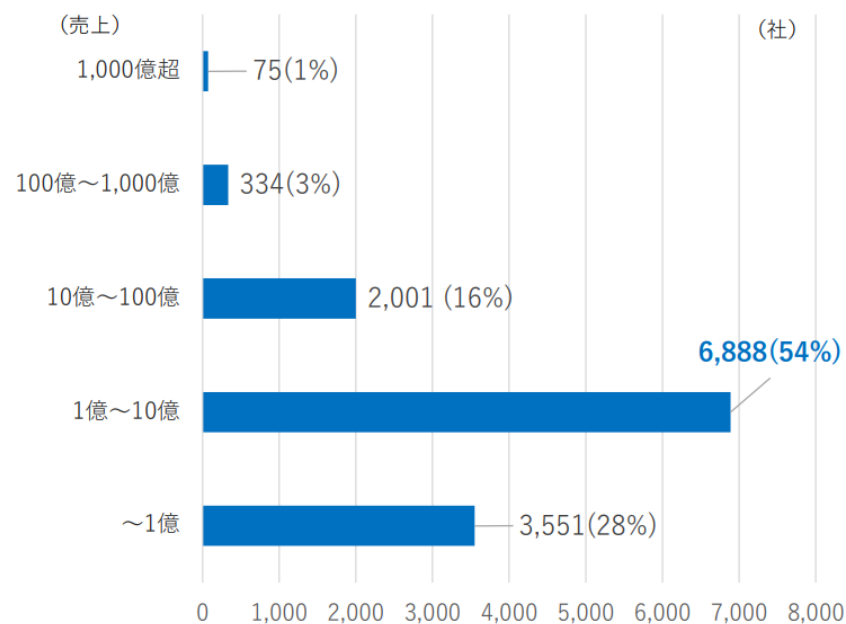


パッケージソフトウェア開発が
当社の開発スタイルです。

建 築 (企業売上高別、導入実績)



測量・土木 (企業売上高別、導入実績)



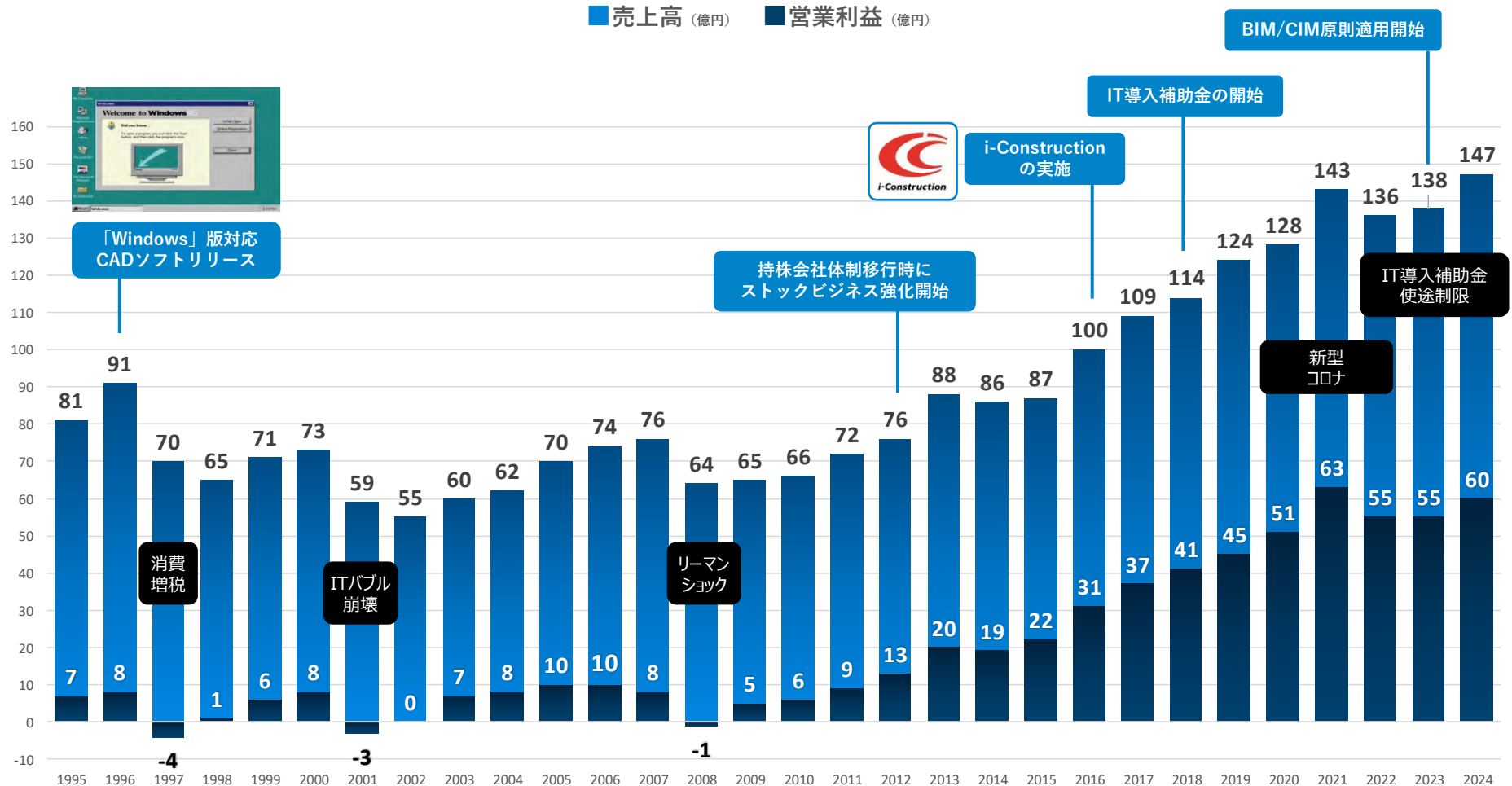
2024.04時点

 FUKUI COMPUTER

当社を取り巻く環境と業績について

2016年	■ <u>i-Constructionの実施</u> 建設現場にICTを活用し、生産性アップをめざす取り組みです。国土交通省が起点となり、労働環境の改善や人材不足の解消を図ります。
2017年	■ <u>IT導入補助金</u> 建設業界に限らず、中小企業・小規模事業者等が業務効率化やDX等に向けたITツール導入を支援するための補助金制度です。経済産業省と中小企業庁が所管しています。
2019年	■ <u>2025年度までに全直轄事業でBIM／CIMの原則適用化</u> 「BIM/CIM」は建築物やインフラの設計、建設、管理において、3次元のデジタルモデルを使用するプロセスです。建物の全体像と建設プロセス全体を包括的に理解し、設計や建設の段階での情報共有を容易にします。これによりエラーの削減、業務効率化、コスト削減が見込まれ、より効率的で持続可能な建築物の建設を可能にします。
2020年	■ <u>2023年度までに全公共工事でBIM／CIM原則適用</u>（小規模工事を除く） 当初2025年度までとなっていた施策が実質2年の前倒しとなりました。新型コロナウイルス感染拡大によりテレワークやリモートによる遠隔打合せの普及が要因となっています。
2023年	■ <u>全ての詳細設計・工事でBIM／CIM原則適用開始</u>（小規模工事を除く）
2024年	■ <u>働き方改革関連法施行</u>（建設事業者向けの時間外労働上限規制） ■ <u>4号特例の縮小</u>

売上の推移と外部環境の変化



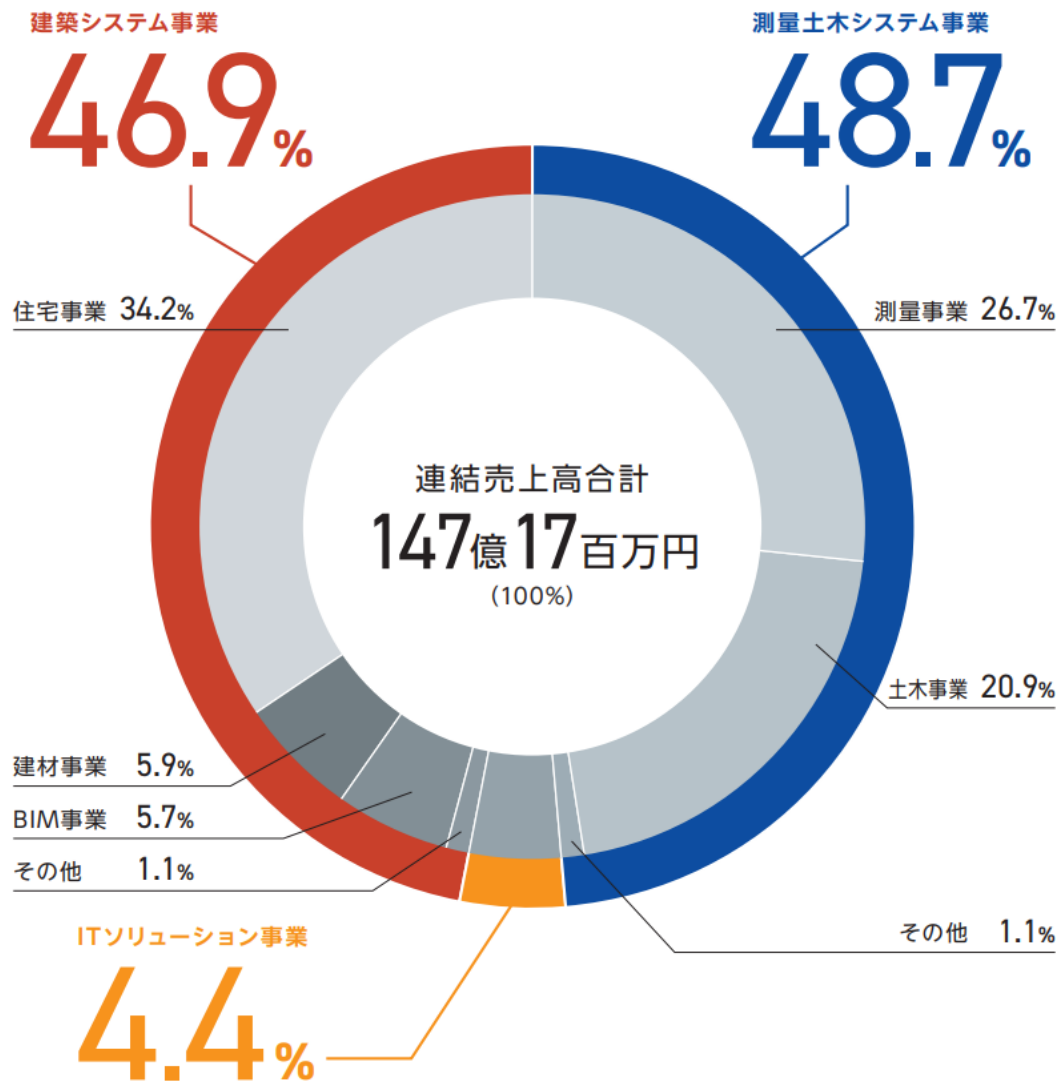
単位：百万円

	FY2024	FY2023	増減率
売上高	14,717	13,821	+6.5%
営業利益	6,085	5,585	+8.9%
経常利益	6,211	5,676	+9.4%
当期純利益	4,189	3,817	+9.8%
ROE	16.3%	16.6%	—
ROS	41.3%	40.4%	—

- ✓ 前年同期比増収増益
- ✓ 通期売上高は過去最高

※本資料中で使用している当社の主な集計基準は以下の通りとなります。

ROE：自己資本利益率 ROS：営業利益率



※2024年度実績

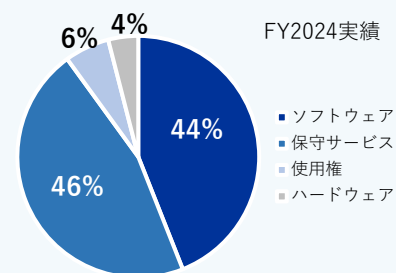
測量土木システム事業

- ✓ 国土交通省が推進するi-Constructionの影響により、点群データ活用の需要は拡大したものの、一部の3次元素材の売上が鈍化
- ✓ 製品売上は減少するもストックビジネスが伸長し増収

四半期ごとの業績推移

(単位：百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,806	1,802	1,610	1,794	7,014	1,798	2,039	1,678	1,652	7,168	+2.2%
└ARR	839	855	869	888	3,452	897	911	942	989	3,741	+8.4%
└保守	765	772	781	793	3,113	797	805	829	870	3,302	+6.1%
└使用権	74	82	87	94	339	99	106	113	119	438	+29.3%
営業利益	844	900	677	880	3,302	858	1,141	762	676	3,438	+4.1%



Churn Rate

4.5%

FY2023 4.5%

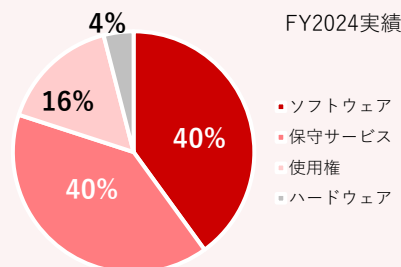
建築システム事業

- ✓ 住宅事業および建材事業では、法改正対応プログラム関連製品の販売が大幅に伸長
- ✓ BIM事業では、国産BIMシステムとしての信頼性が評価され、既存顧客を中心としたストック型サービスが安定的に推移
- ✓ 製品の価格改定も売上増加に寄与

四半期ごとの業績推移

(単位：百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,480	1,615	1,650	1,708	6,454	1,650	1,746	1,743	1,765	6,905	+7.0%
└ARR	901	911	926	934	3,673	946	954	980	1,023	3,904	+6.3%
└保守	662	666	672	674	2,674	669	671	684	713	2,739	+2.4%
└使用権	239	245	253	260	998	277	282	295	309	1,165	+16.6%
営業利益	403	546	545	626	2,121	585	702	666	564	2,519	+18.8%



Churn Rate

6.3%

FY2023 6.1%

ITソリューション事業

- ✓ 前期は、2023年4月に行われた統一地方選挙の出口調査システムにかかわる売上を計上
- ✓ 当期は、2024年10月に衆議院選挙の出口調査システムにかかわる売上を計上

四半期ごとの業績推移

(単位：百万円)

	FY2023 実績					FY2024 実績					前年同期比累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	251	32	28	39	352	32	29	543	37	643	+ 82.7%
営業利益	175	△ 10	△ 8	△ 12	145	△ 7	△ 8	501	△ 2	483	+ 233.0%

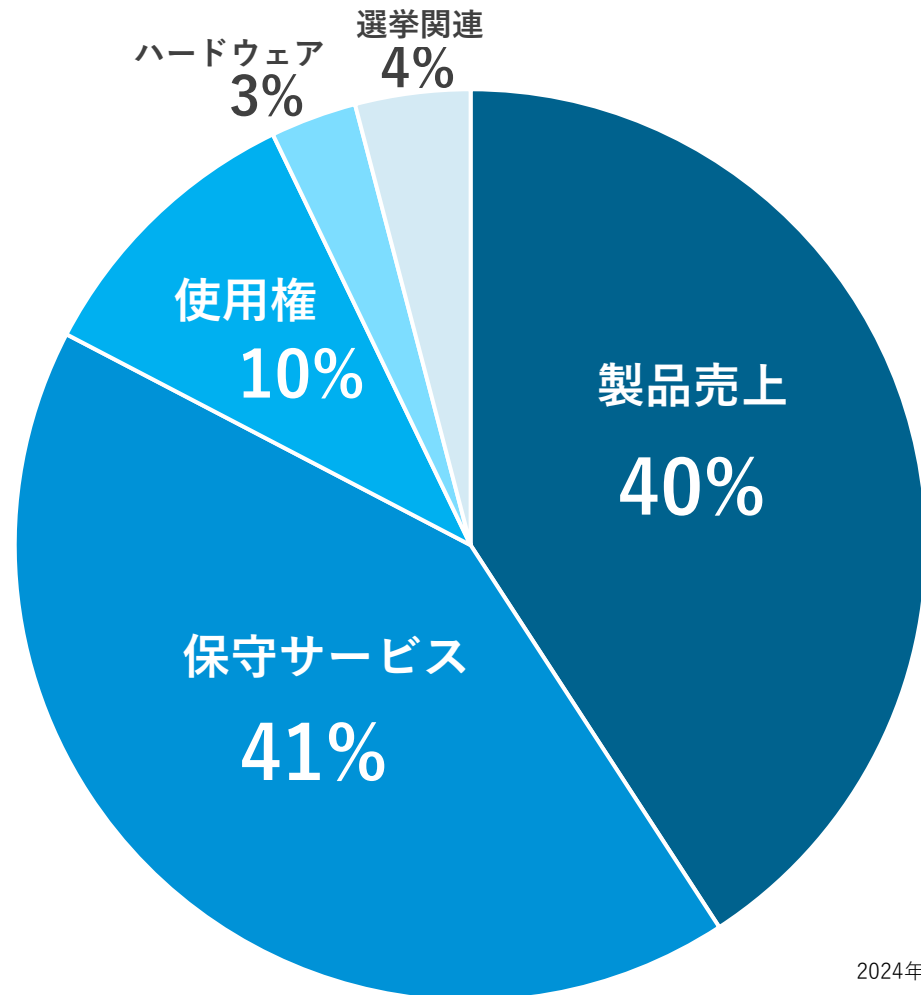
製品売上 / 保守・使用権売上構成比

製品売上とは

当社パッケージソフト製品およびサービスの売上

保守サービス・使用権売上とは

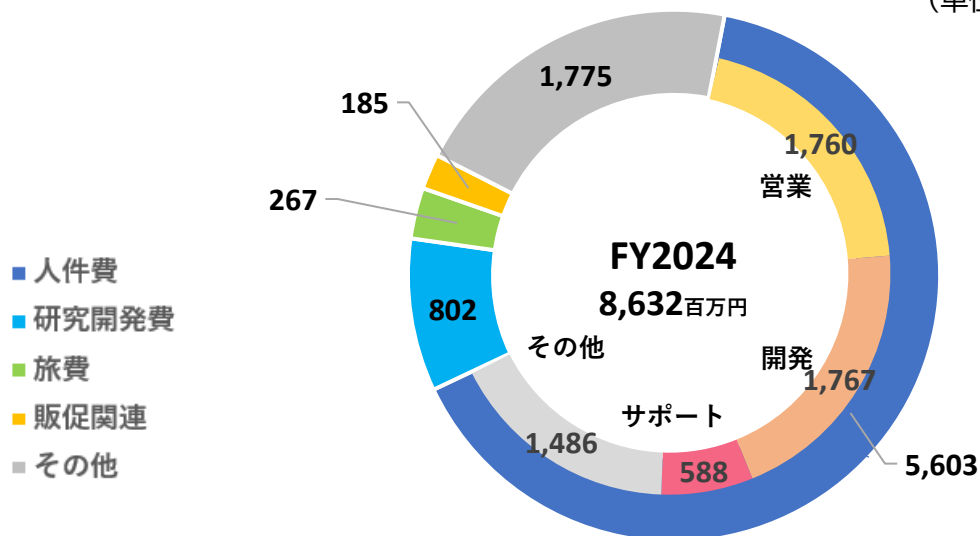
一定期間にわたり製品・サービスを使用することができる使用権販売とソフトウェアの定期的なアップデートやサポートサービスを含む保守サービスの売上



2024年度

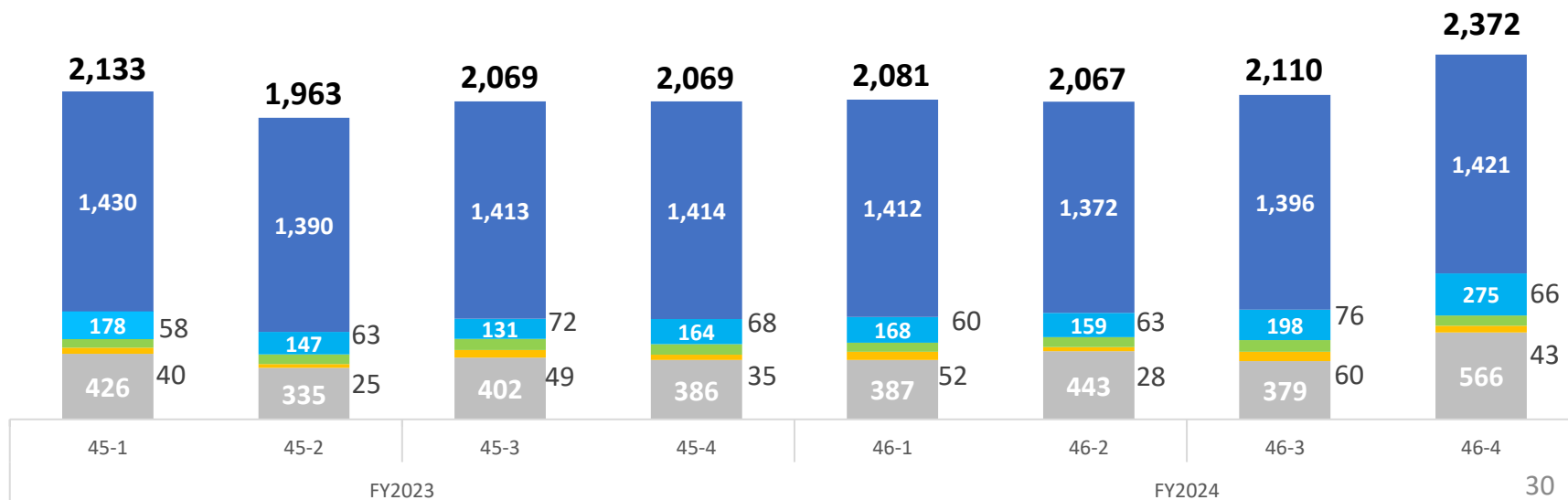
当社の営業経費について

(単位:百万円)



- ✓ 人件費が約65%を占めております。社員が安心して長く働ける環境づくりを目指し、建設業全体の生産性向上に寄与する製品の提供に努めてまいります。
- ✓ 「その他」の主な内容は修繕費、外注加工費、地代家賃・賃借料、商品売上原価、減価償却費、ロイヤリティ等です。

(単位:百万円)

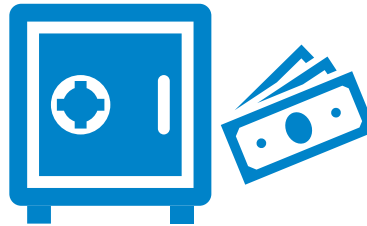


1 顧客基盤



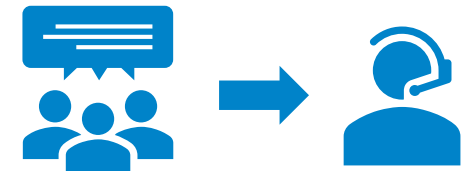
“建設業界全体”という強固な顧客基盤があり、業績が安定しています。

2 コスト



突発的なコスト増が発生せず安定的な経営ができます。

3 お客様の声



当社の製品開発において、お客様の業務内容や課題をヒアリングし理解し、製品に反映させるという考え方があります。

niche, small but strong

当社の事業領域は非常にニッチであり、市場規模としても決して大きいとは言えませんが、上記の通り経営基盤を有している当社グループは非常に強い存在であると自負しております。

 FUKUI COMPUTER

第3期中期経営計画 (FY2025～FY2027)

建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

社会を支える建設業が、そこに従事するすべての人が、力強く未来へと歩いていけるように。
福井コンピュータグループは、ICTの技術を活用して創造と革新を積み重ねることで、
より豊かな未来の実現に貢献してまいります。

第2創業期

FY2019

FY2020

FY2021

FY2022

FY2023

FY2024

FY2025

FY2026

FY2027

第1期中期経営計画期間

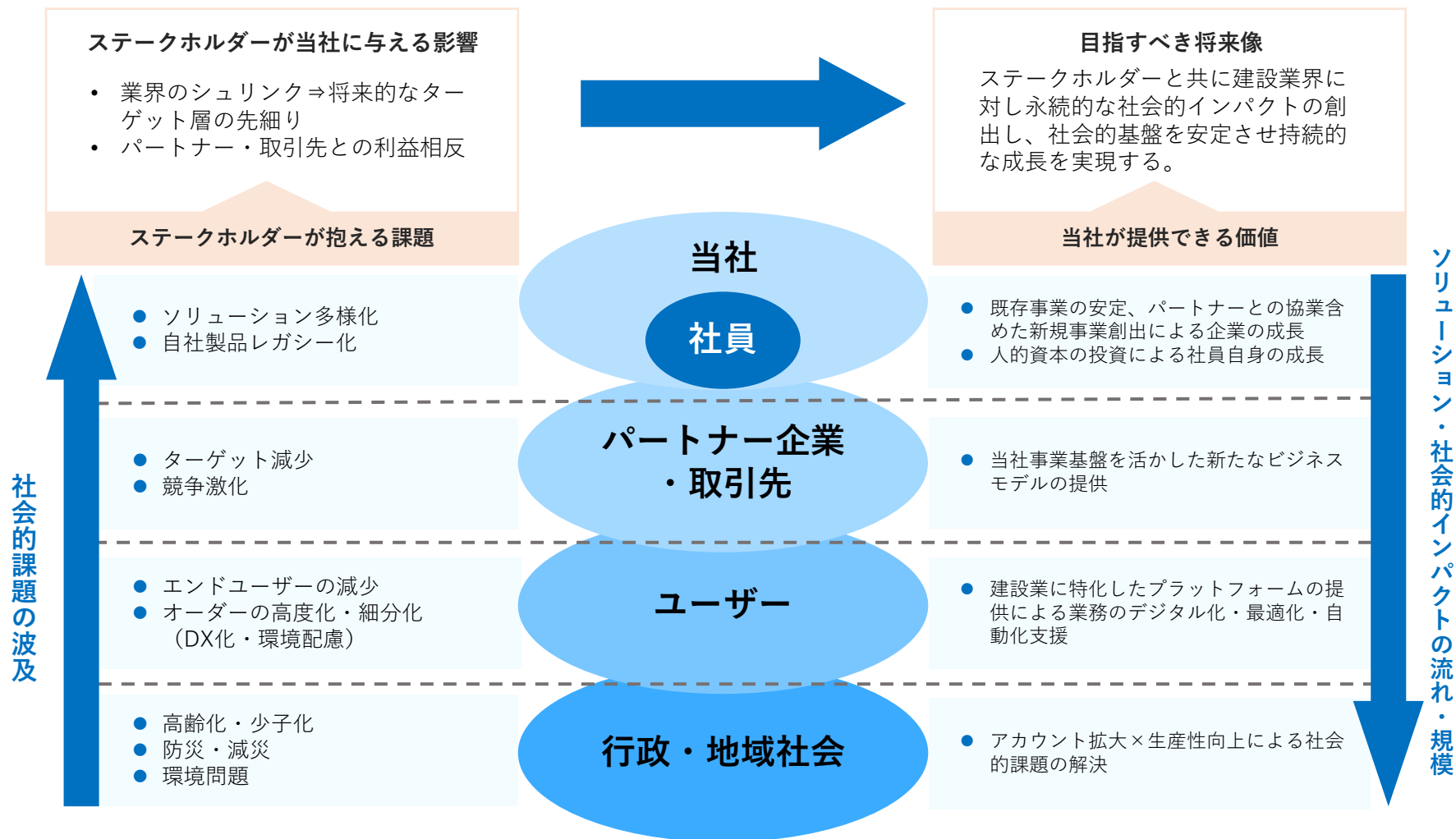
第2期中期経営計画期間

第3期中期経営計画期間

■ 基本方針について

全てのステークホルダーとの価値観（問題意識）を共有し、
新たに・真に求められる価値を提供しながら共存共栄を目指します。
そのためにビジネスモデルの変革と、組織再編に取り組みます。

■ ステークホルダーと共に行う建設業界への価値提供



重点施策

コアビジネスの成長

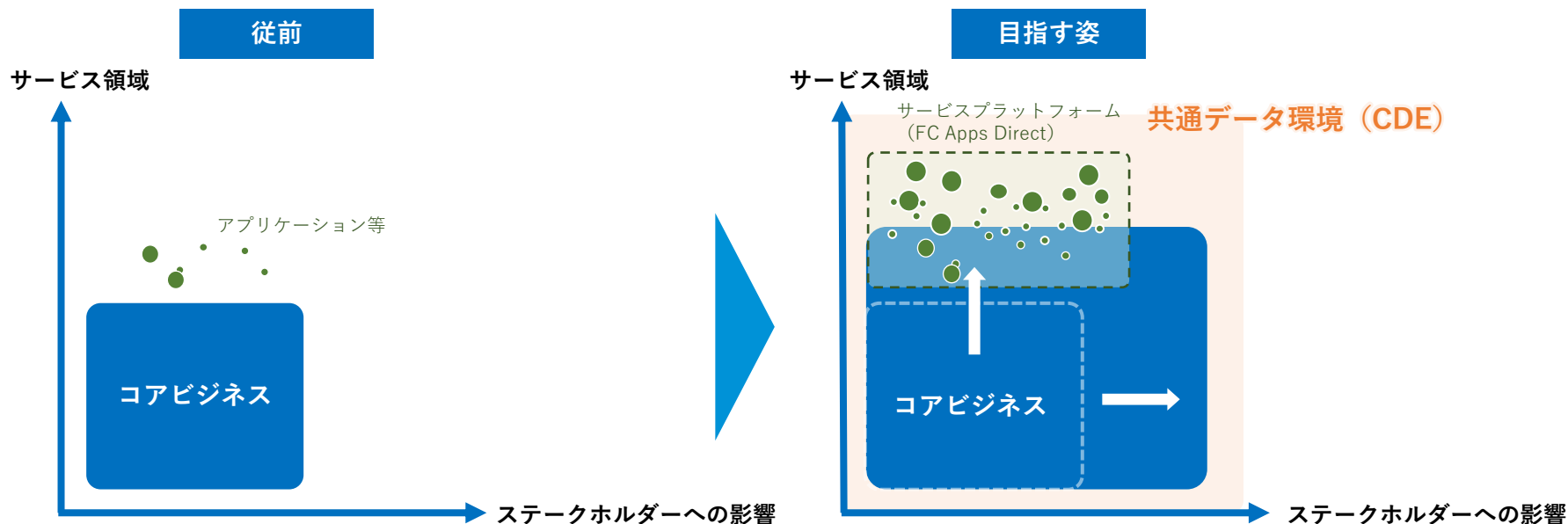
- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション（社外のソリューションを含む）を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

共通データ環境（CDE）の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境（CDE）の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う



重点施策

コアビジネスの成長

- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション（社外のソリューションを含む）を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

共通データ環境（CDE）の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境（CDE）の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う

建設業従事者

プラットフォーム

ARCHITREND ONE等

FC Apps Direct

自社アプリ

他社アプリ

CAD

AI・XR

既存アプリ

新規アプリ

FC Apps Direct

自社アプリ

他社アプリ

AI-BPO

AI

オペレーションの
オートメーションサービス

A工程

B工程

C工程

D工程

E工程

工程毎のデータを
クラウドで標準化して管理

共通データ環境（CDE）

■ 人的資本の成長戦略

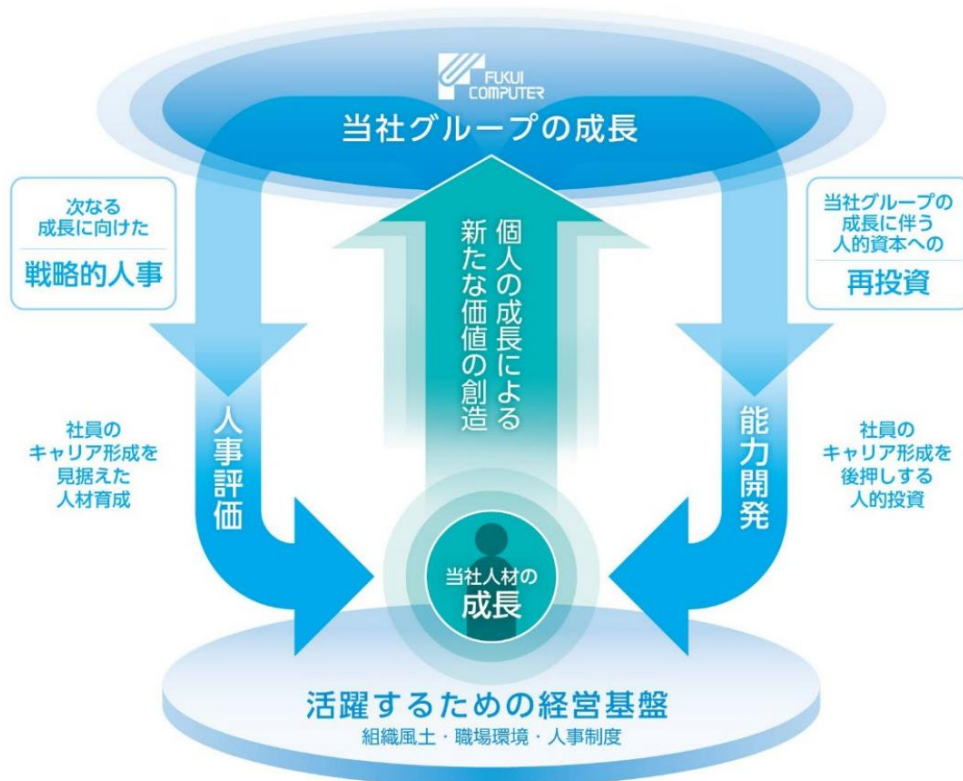
- 本中期経営計画を進めるための、人的資本への投資とその効果測定に取り組みます。
- 業務プロセスや当社グループが提供する価値を改善するための人的資本投資を行います。
- 投資の対象は、経営及び管理を主としディレクションを行うマネジメント人材、事業等の企画・実現を主とするイノベティブ人材、実務を推進するバリュー人材/グロース人材の3つに区分し、それぞれに応じた取り組みを行います。

	人材要件	取組内容
マネジメント人材	変わりゆく業務プロセス・事業のバリューの中で現状認識を行いながら、各セクションにおいて戦略的にリソースを配賦し、自組織のみならず、全社的な成果に結びつけるよう意識し、ディレクションを行う。	・サクセッション委員会の始動 ・マネジメント研修・評価者研修による能力開発 ・期初・期中MTGによる全社方針/KPI共有
イノベティブ人材	外部環境と当社グループが目指す将来像を踏まえ、真に求められる価値提供のために変革を推進し、実現するための事業デザインを行う。	・社外トレーニー ・事業起案 ・FIT & GAP
バリュー人材 グロース人材	マネジメントの下で、当社グループのミッションステートメントに則り、着実な企業価値向上に資するよう業務に取り組む。	・タウンホールMTG ・福利厚生改善

- ・採用強化
- ・社内表彰
- ・組織診断
- ・能力開発
- 他

■ 人的資本の成長戦略

「個」の成長が「組織」の成長を促す好循環型のスパイラル



- 当社グループにとって人的資本は持続的な競争優位性の源泉です。
- 人事施策については求める人物像を明確にしたうえで制度構築し、経営戦略と結び付けながら積極的な投資を行います。

個人の成長がグループの成長につながる

■ 人的資本の成長戦略



Visionary Hub Fukui

福井県福井市中央1丁目3 - 5 FUKUMACHI BLOCK 13F

■ 人的資本の成長戦略



C Co-Lab L ^ }

福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6 12F

■ 人的資本の成長戦略



Visionary Hub Fukui



■ 定量目標

売上

FY2023
138億円

▶

FY2027
175億円

営業利益

FY2023
55億円

▶

FY2027
80億円

ROE

FY2027
15%以上

株主配当

配当性向 35%以上

■ キャピタルアロケーション

事業投資枠

成長

新たな事業創出のために重点取組やデータ戦略実現に向け、事業への投資および積極的な人的投資を行ってまいります。

イノベーション (R&D)

新しい製品やサービスの開発を行いイノベーションの創出や、将来的な技術開発や応用研究の基盤を築きます。

維持更新

設備メンテナンス費用等

株主還元

配当性向 **35%**以上

今後3年間の投資枠

FY2025 - FY2027

70億円

今後3年間の配当合計額

FY2025 - FY2027

50億円

IFAC合同会社では建設テック分野で事業展開を考えている企業を支援して参ります。

当社は新規の市場開拓等を目的としたコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）ファンド及び投資運用子会社（IFAC合同会社）を設立し、スタートアップやベンチャーとの技術・ノウハウの共有やパートナーシップの構築で、相互に成長を促進し、新たな事業の創出を行って参ります。

当社は、CVCファンドを通じて、当社の事業領域と関連性の高いスタートアップやベンチャー企業に対して、資金提供だけでなく、技術やノウハウの共有、ビジネスパートナーシップの構築などを図ることにより、相互に成長を促進することを目指していきます。これにより、当社は自社の競争力を高めるとともに、社会的な課題解決に貢献するイノベーションエコシステムの構築に努めてまいります。



Portfolio



フォトラクション

2016年設立の建設生産支援サービスの開発・提供を行うスタートアップです。



エピソテック

2020年設立のAR/MR技術による現場支援ソリューションの開発・提供を行うスタートアップです。



スカイマティクス

2016年設立の産業用リモートセンシングサービスの企画・開発・販売を行うスタートアップです。



グレートウェーブベンチャーズ

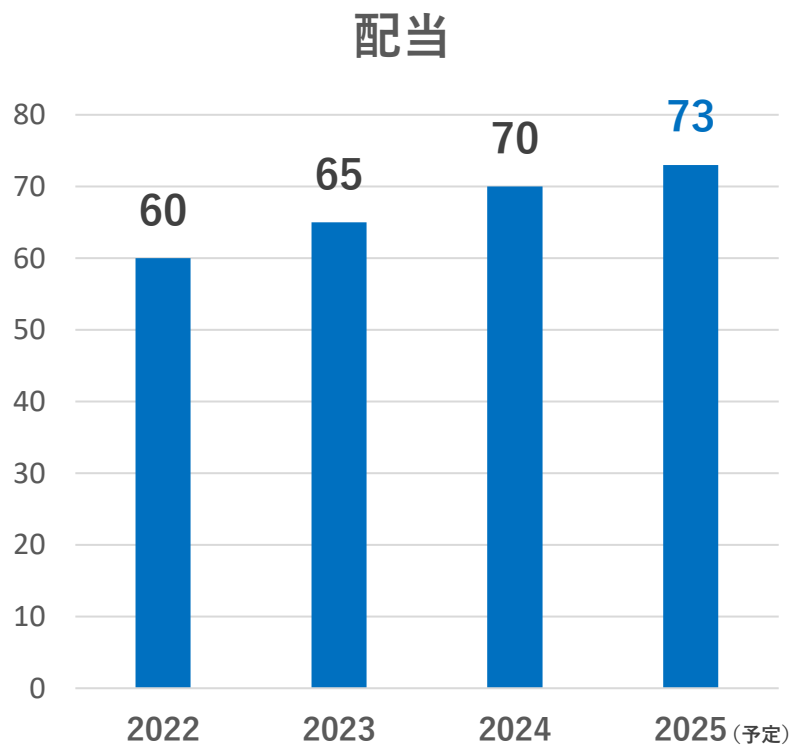
北米を中心とした世界各国の不動産テック領域に特化した投資を行うベンチャー・キャピタル（VC）ファンドです。



助太刀

2017年設立の建設業界向け人材マッチングプラットフォームを運営するスタートアップです。

株主の皆様への利益還元姿勢を重視し、安定的かつ継続的な配当を実施します。



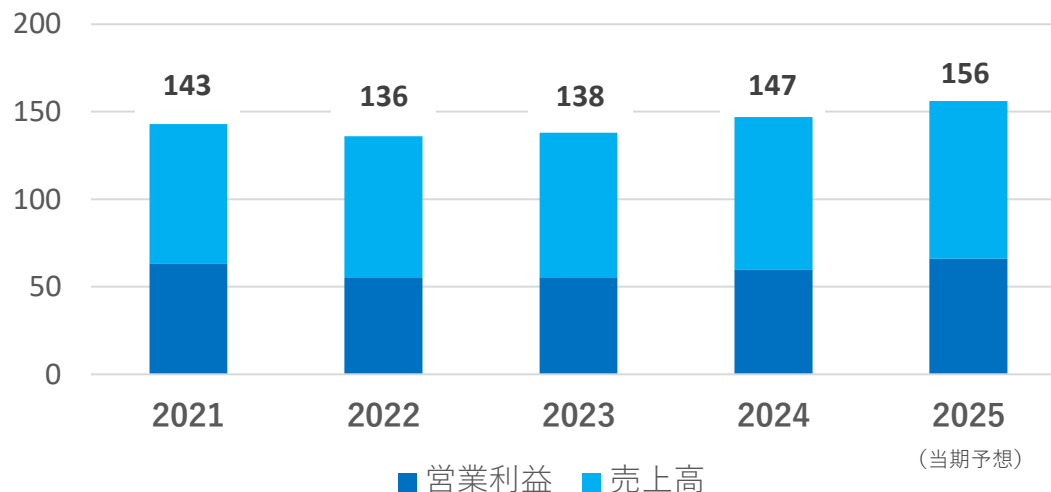
- ✓ 内部留保資金につきましては、開発及び販売体制強化に向けての資金需要に備えるとともに、経営体質の強化並びに今後の事業の拡大に活用してまいりたいと考えております。

FY2025業績予想

売上高15,580百万円、
営業利益6,600百万円、
経常利益6,658百万円、
当期純利益4,310百万円
を見込んでおります。

	FY2024 (前期実績)	FY2025 (当期予想)	増減率
売上高	14,717	15,580	+5.9%
営業利益	6,085	6,600	+8.5%
経常利益	6,211	6,658	+7.2%
当期純利益	4,189	4,310	+2.9%
1株当たり 当期純利益	202円65銭	208円46銭	
1株当たり 配当金	70円	73円	

売上高と営業利益の推移 単位：億円



測量土木システム事業

測量事業では、一部法改正を受け、主に3次元測量CADシステムでの既存顧客における新たなソリューション提案により売上増加が見込まれます。
土木事業では、国土交通省が推進するi-Constructionにより新規・既存顧客問わず、元請企業全体への導入が堅調に推移しており、更なる需要が見込まれます。

建築システム事業

住宅建材事業では、法改正に対応した製品やリノベーション市場向けの機能強化を進めており、既存顧客の更新需要と新規導入がともに堅調に推移しております。BIM事業では、確認申請対応および施工フェーズ向けソリューションの開発を進めており、導入を進展させてまいります。

単位：百万円

	FY2025 (1Q実績)	FY2024 (1Q実績)	増減率
売上高	3,955	3,481	+13.6%
営業利益	1,677	1,400	+19.8%
経常利益	1,712	1,424	+20.3%
四半期純利益	1,147	968	+18.5%
ROS	42.4%	40.2%	

- ✓ 前年同期比増収増益
- ✓ 第1四半期時点の売上高、営業利益、四半期純利益いずれも過去最高

※本資料中で使用している当社の主な集計基準は以下の通りとなります。

ROS：営業利益率

当社ミッション

“建設業のなくてはならないになる”

中期経営計画スローガン

建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

 FUKUI COMPUTER

付論

中小企業等が業務効率化やDXに向けたITツール導入を支援するための補助金制度です。

IT導入補助金は経済産業省と中小企業庁が所管しています。中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革、被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイスの導入）等に対応すべく、中小企業・小規模事業者等が生産性の向上に資するITツール（ソフトウェア、サービス等）を導入するため事業費等の経費の一部が補助される制度です。

対象者

中小企業・小規模事業者等

※建設業の場合、資本金3億円以下または従業員300人以下の法人および個人事業主となります。

補助内容

承認されたソフトウェア、保守、サポートの導入費

※補助金は、IT導入補助金事務局より補助対象者に直接支払われます。

2025年度における補助率、金額上限

	補助率	補助金額
A類型	ソフトウェア費・導入関連費 クラウド利用料（最大1年分補助）等 1/2以内	上限額：150万円未満 下限額：5万円



国土交通省が起点となり建設現場にICTを活用し、生産性アップをめざす取り組みです。

国土交通省では建設現場の生産性向上を目的として、ICT技術を活用する取組み『i-Construction』を推進しています。すでに土工、舗装工、浚渫工においてはICT技術の導入が進み、全国各地で取組みが進んでいます。2017年12月に閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」においても、i-Constructionについては、2019年度までに橋梁・トンネル・ダム工事や維持管理、建築分野を含む全てのプロセスに対象を拡大するとともに、中小事業者や自治体への適用拡大を目指して3次元データの活用やICT導入を強力に支援するとされています。

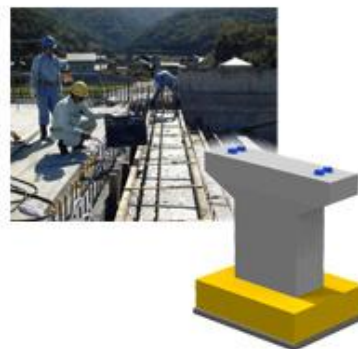
3つの柱

ICT技術の全面的な活用(土工)



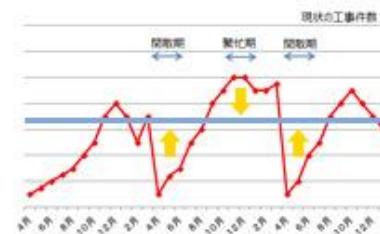
UAVによる3次元測量、検査
ICT建機による自動制御施工

規格の標準化(コンクリート工)



現場打ちの効率化
プレキャストの進化

施工時期の平準化



※青いラインが平準化
※現在…繁忙期と閑散期の幅は約2倍

閑散期・繁忙期の解消による
労働環境の改善

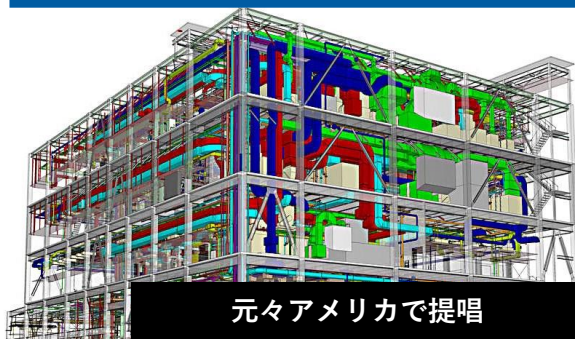
目指すべき未来：

- 一人一人の生産性を向上させ、企業の経営環境を改善
- 建設現場に携わる人の賃金の水準の向上を図るなど、魅力ある建設現場へ
- 建設現場での死亡事故ゼロに
- 「きつい、危険、きたない」から「給与、休暇、希望」を目指して

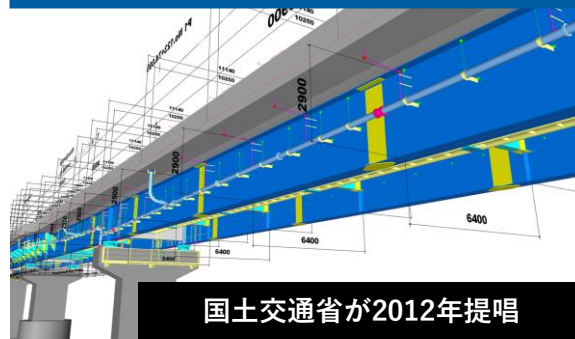
建築物の設計、建設、管理において、3次元のデジタルモデルを使用するプロセスです。

三次元モデルデータ
(情報保持)

建築 (BIM)



土木 (CIM)



設計段階

- ・ 社内や関係者との内容理解が深まる
- ・ 図面毎の作図から必要情報のみ自動作図
- ・ 施工区域内の部材料費も正確になる

施工段階

- ・ 設計データを元に施工手順が可視化される
- ・ 設計変更も共有され資材調達速度が上がる
- ・ 事前に危険な作業部分を把握できる

維持管理段階

- ・ 測量から修復エリアの部材量が可視化
- ・ 破壊工事無く内部構造が把握できる
- ・ 状況を関係者間で円滑に共有できる

一貫したデータ利用で生産性が向上

本資料について

- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

 **FUKUI COMPUTER**
福井コンピュータホールディングス株式会社

〒910-8521 福井県福井市高木中央 1-2501
<https://hd.fukuicompu.co.jp>

IRに関する情報は当社公式サイトをご覧ください▶



著作権について

Copyright FUKUI COMPUTER HOLDINGS, Inc. All rights reserved.

WARNING : All Rights Reserved . Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。